



子どもたちにどんな力をつけるのかを明確にして

先々週から、本年度の学校経営方針について紹介をしているところです。今回は、特に重点的に取り組むべきことについて紹介します。1つは、子どもたちにどんな力をつけるかを明確にすること、2つめは、学校の中心的役割であります授業づくりの工夫改善を行い、子どもたちに確かな学力を身につけることです。1つめのことについて詳しく説明しますと、校訓の「やさしく」「かしこく」「たくましく」に合わせて、子どもたちに身につけさせたい資質・能力を次のように設定しています。子どもたちが、これからの社会を生き抜いていくためには、最優先は命と健康です。そして、自分の夢を叶えるためには、小学校で学ぶ勉強が基本になることと、体力・忍耐力も大切です。また、周りの人と協力したり助け合ったりして、よりよく生きていくためには、あいさつ、言葉遣いが大切です。このような、本校の子どもたちの課題とこれから何が必要かについて考え設定したものです。

- ① 自他を大切にする心の育成
命を大切に・あいさつ・言葉遣い
- ② 確かな学力の育成
分かるまで学ぶ姿勢
- ③ たくましい心と体の育成
健康・体力・忍耐力

※ お願い

来週は4連休があります。久しぶりの長い休みで子どもたちはうきうきしているかと思います。道路への飛び出しは絶対しないこと、自転車の安全な乗り方、コロナウイルス感染症予防には十分気をつけるよう、家庭でも注意をお願いします。

白水台地の陽光「さん」



「プールそうじ」

1～3年生：プールの溝、草取り、4年生：バケツで水を運ぶ、5・6年生：プール内、このように各学年で分担をしてプールそうじを行いました。子どもたちみんなの頑張りで見違えるようにきれいになりました。



「プール開き」

雨が続いていて、思うようにプールができませんが、雨の止み間をぬってプール開きをしています。コロナの対応（合同授業なし、2m以上の間隔、色々な道具や施設の消毒等）を徹底しながら、水泳の授業を充実させていきます。



